



ちくら だより

発行: 南房総市千倉協働推進室 企画編集: 千倉担当地域づくり支援員
〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸2294番地 南房総市千倉支所内
TEL: 40-0540 FAX: 40-1013
E-mail: chikura@royal.ocn.ne.jp

平成22年9月
第2号

第1回ちくらの地域づくりを考える会 開催



40代～80代までいろいろな人が参加

8月30日(月)に「第1回ちくらの地域づくりを考える会」が開催されました。この会議は、千倉地区の良いところや問題点を話し合い、まちづくりの課題(「こんな千倉の良さをまちづくりに活かし、活性化につなげたい。」「こんな問題点を改善し、暮らしやすいまちにしたい。」)などについて参加者全員で話し合い、協働によるまちづくりを進めていく、地域づくり協議会の組織の設立に向けた話し合いの場です。

発起人の呼びかけに70名を超える賛同者があり、当日は47名の方が参加しました。

考える会は、発起人代表の高橋さん、石井市長のあいさつ、石塚計画デザイン事務所代表石塚雅明先生による地域協働のまちづくりの講話に続き、8つのグループに分かれ、自分達の地域を良くするため「千倉の良いと思うところ・悪いと思うところ」について話し

合い、各グループごとに3つの課題を選び、発表を行いました。

発表後、各グループから出された3つの課題をすべてパネルに貼り出し、次回の考える会に向けて課題を絞り込むため、「今後地域で取り組めそうな重要課題」と考えられるものに参加者全員で一人1枚のシールを貼り投票を行いました。



活発な意見を!

発起人代表
高橋常男さん

地域づくりを考える会には、70名を超える多くの意欲ある方々の応募があり、本日第1回目の会議を迎えることができ、発起人一同肩の荷が下りた思いです。皆さんには、千倉を住みよい地域にするために、また住んで良かったと思う地域にするため、建設的かつ活発な意見を願います。

地域を作っていく原動力は、

“市民力” 石井市長



新市になり、新たな町づくりの進め方として、市民と行政の協働によるまちづくりを大きな柱として掲げ、昨年度から旧町村単位で、地域づくり協議会の設立を進めています。

住民自治の原則は、地域の課題、問題を住民自らが考え、発見し、その課題の解決方法もまた住民自らが考え、行動していくものだと思います。そういう住民自治の機能をまちづくり協議会を中心に高めていくことを期待しています。住民による地域の自治は、それぞれの運営があってよい訳で、旧隣町隣村のまねをする必要は全くありません。地域に合ったスタイルを住民自らが決め、進めていって頂ければよいと考えています。

「地域協働のまちづくりとは」

株式会社 石塚計画デザイン事務所
代表 石塚雅明 先生



石塚雅明 先生
経 歴

札幌市、横浜市、川崎市、小田原市など全国各地の市町村のまちづくりの現場で、まちづくりワークショップなど様々な手法で、住民と行政のコミュニケーション、地域合意形成、住民まちづくり活動の支援などを実施されています。

専門は、地域計画、歴史的町並み保全計画、市民によるまちづくりに関心をもって研究されています。

まちづくりとは、道路や公園の整備ばかりではなく、地域の課題を住民の知恵や力などで解決することを含む幅広い意味を持っています。地域には、行政の力だけでは解決できない問題が山積しています。特に、地域の福祉、教育、防災といった問題は、地域の取り組みなしには解決できません。地域の活性化も、地域の方々の知恵と力を合わせて取り組むことで大きな成果を上げることができます。

◎地域づくり活性化のポイント

- ・「地域の課題が何か」をきちんと見つめ、共有すること。
- ・できるだけ広く、「地域ぐるみで議論」すること。
- ・「現場」で考え、「成果が目に見える」取り組みをすること。
- ・「参加しやすいきっかけ」を工夫すること。
- ・誰もが気軽に立ち寄り話し合える「場」を持つこと。
- ・取り組みの経緯や結果を「地域に伝える」こと。
- ・やっている人が「楽しい！」と思えることが大切です。

ちくらの地域づくりを考える会

話し合いの流れ

第1回 8月30日(月)
テーマ「自分達のまちの課題をみつけよう！」



第2回 10月上旬予定
課題に対しての取り組みを考えよう！



第3回
地域づくりの活動計画を考えよう！



地域づくり協議会設立準備へ

市民活動の紹介



7月18日に開催された
千倉ビーチクリーンキャンペーン

◎参加者の皆さんから頂いた感想です。

- ・千倉町の将来が、ひらけるような気がしました。
- ・自分の町は自分達で良くしようとする想いが伝わりとても良かった。
- ・他の地区の人と意見交換することによって自分の地域よその地域それぞれだなあと感じました。
- ・話し合った意見を必ず行動に移しましょう。
- ・熱い思いを持った人が多くいることに感動しました。
- ・理想と現実、なかなか厳しいものがありますが、みんなで考えていくことが大事だと思うし、はじめの一歩でゆっくり行けば良い。
- ・大変良い機会が出来たと思う。この会によって将来が明るくなってきたように感ずる。

地域ぐるみの話し合いから まちを変える **パワー** が生まれる！



◎ 各班で選んだ課題は、次のとおりです。

- ◇意思の疎通が図られる体制を作っていきたい。(話し合うことの大切さ) ①
- ◇ひとつのテーマで活動するのも大事だけれど、テーマには関連があるので関連性を大事にしたい。
- ◇千倉全体で考えるのも大事だが、小さな単位の活動を大事にし、つなげていくことも大切！

- ◇観光のまちとして、何をターゲットにしていくなか、どう連携していくかを決めていく必要がある。(一年中観光できるまち)
- ◇お年寄りの働く場から観光環境をよくしていくことにつなげたい。
- ◇花盛りのまちにしていきたい。どこを通っても花がある。 ②

- ◇海・山の豊かな自然を保全し、今後有効活用していきたい。 ③
- ◇空き店舗を活用して、千倉らしい個性的なお店を増やしていきたい。
- ◇後継者不足により増加している耕作放棄地を有効活用し、特産の露地花等をアピールしていきたい。

- ◇冬の花畑を活用していく方法を考える！冬だけじゃない。
- ◇観光資源として～昔良かった場所を!!～見直そう。
- ◇港の色々な活用方法を考えることが必要！ ④

- ◇人をおもいやる。人と人とのつながりが希薄になった。 ⑤
- ◇美しい里山・海を再確認して、残していく。
- ◇働く場所がない。

- ◇地域づくりは大きな課題だが、生活できる産業(1次)を建て直す。
- ◇山と海が同時に楽しめるので、それを活用していきたい。
- ◇自然災害が少ないのをPR。観光客や移住者を増やそう。 ⑥

- ◇海などの自然を守り活かしたい。
- ◇漁港施設周辺を利用したイベントを開催し、漁業を振興したい。
- ◇若者が働ける場所を考えたい。 ⑦

- ◇世界に誇れる料理の神を祀る高家神社を 後世へ！
- ◇七浦地区の花畑を残していこう！
- ◇美しい砂浜など豊かな自然を残し、活用方法を考えよう！ ⑧

第1回ワークショップに参加された皆さん

